

2024. 6.7

報道関係者 各位

<配信枚数 2 枚>

【立命館土曜講座のご案内】

2024 年 7 月テーマ「漢籍の東西伝播」

開催日程：2024 年 7 月 6 日(土)・27 日(土)

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

2024 年 7 月の立命館土曜講座は、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所の企画として、「漢籍の東西伝播」をテーマに、ハイブリッド形式(対面・Zoom ウェビナー)で開講いたします。
どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 7 月テーマ「漢籍の東西伝播」

(1)平安貴族の読書-藤原道長はどうして漢籍を蒐集したのか

日時：2024 年 7 月 6 日(土) 10:00～11:30

ハイブリッド開催 会場:歴史都市防災研究所+Zoom ウェビナー

(2)敦煌文献に見る漢籍の伝播

日時：2024 年 7 月 27 日(土) 10:00～11:30

ハイブリッド開催 会場:末川記念会館+Zoom ウェビナー

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：「平安貴族の読書-藤原道長はどうして漢籍を蒐集したのか」

歴史都市防災研究所カンファレンスルーム 35 人、Zoom ウェビナー400 人

「敦煌文献に見る漢籍の伝播」

末川記念会館 180 人、Zoom ウェビナー400 人

※実施前日 12:00 までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他：文字通訳を配信しています。7 月 27 日(土)は見逃し配信はございません。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・堀

TEL.075-465-8224

別 紙

■立命館土曜講座 7 月テーマ「漢籍の東西伝播」

(1) 平安貴族の読書-藤原道長はどうして漢籍を蒐集したのか

日時：2024 年 7 月 6 日(土) 10:00～11:30

講師：慶應義塾大学 名誉教授 佐藤 道生

講師による内容紹介：

藤原道長(966-1027)と言えば、平安時代の政治権力者という印象が強いけれども、学問や文学と無縁だったわけではない。実は、彼は生来の「本好き」で、書籍蒐集が唯一の趣味だったと言っても言い過ぎではない。中でも漢籍の蒐集にかけては、彼の右に出る者はいなかった。漢籍とは、『論語』や『史記』といった中国伝来の、漢語で書かれた書籍のことである。道長はどうして漢籍の蒐集に熱心であったのか。そこには彼個人の資質に加えて、当時の東アジアの文化的潮流が影響を与えていたように思われる。本講座ではこの問題について、道長の日記や彼の残した詩歌を手掛かりとして考えてみたい。

(2) 敦煌文献に見る漢籍の伝播

日時：2024 年 7 月 27 日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所 研究員 高井 龍

講師による内容紹介：

敦煌文献は、9 世紀から 10 世紀の写本を中心とする寺院文書である。中国古典文献は、多くが版本によって現代に伝わることから、版本がまだ広く行われていない時代、写本によっていかに文献が伝播したのかは、明らかでない点が多い。本講座では敦煌文献を史料として、その大部分を占める仏教文献はもちろんのこと、漢籍という語句から一般的に想定される古典文献も取り上げ、それらの伝播の様相を考える。その中で、中国国内における文献の伝播の特徴や、敦煌という地域の特殊性に着目する予定である。

■立命館土曜講座

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>